復興8	令和8年度 地域課題研究ゼミナール支援事業　中間報告			
指導教員	北陸大学　坂口雄介		参加学生数	12
課題タイトル	「食べて復興」能登応援プロジェクトVer.2			
活動地域	能登町	連携団体等	奥能登食材流通機構	
活動概要	本活動は、支援事業3年計画の2年目として、初年度の成果をデータに基づく社会実装へと昇華させる重要なフェーズである。 我々は「食と健康」をキーワードに、R6年度より海産物加工・流通を行う奥能登食材流通機構と連携し、商品開発・販売を通じた能登の魅力発信と復興支援に取り組んでいる。復興フェーズが移行する中で、今後は応援消費に頼らない持続可能な地域循環型経済モデルが求められる。 今年度は、新たな協力パートナーの「イカの駅つくモール」を舞台に、新たな経済モデルの提案と検証を行う。「来訪者の特性や購買データに基づく店内・商品設計と販売戦略の立案・実践」に取り組み、食を通じた能登の未来共創の実現を目的とする。			
活動状況	毎週の学生定例ミーティング 6/7　8名　　北陸大学保護者懇談会での活動紹介および能登ぶりそぼろの販売 6/20　16名　イカの駅つくモール開業6周年イベント開催			
今後の予定	毎週の学生定例ミーティング 9月　　イカの駅つくモールでのイベント開催予定 11月　東京商品商談会への出展予定 12月　イカの駅つくモールでのイベント開催予定（新商品お披露目予定） 3月　　イカの駅つくモールでのイベント開催予定			

活動の写真

